

第27回 都市環境エネルギーシンポジウム 開催報告

1. 主催： 一般社団法人都市環境エネルギー協会
後援： 国土交通省、東京都環境局
協賛： (一社)日本熱供給事業協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター
(一財)コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
(一社)日本建築学会、(公社)空気調和・衛生工学会
(公社)日本都市計画学会
2. 日時： 令和2年11月5日(木) 13:30~16:50
3. 会場： 東京ガス株式会社 本社2F 大会議室
4. テーマ： 「脱炭素化を考える」シンポジウム
5. プログラム(敬称略)
 - 基調講演「脱炭素化への日本の課題」
国際大学大学院 国際経営学研究科 教授
東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授 橘川 武郎
 - 基調報告「脱炭素社会に向けたまちづくりに関する
国土交通省の取り組みについて」
国土交通省 大臣官房技術審議官(都市局) 渡邊 浩司
 - 基調報告「ゼロエミッション東京戦略について」
東京都 環境局 地球環境エネルギー部長 小川 謙司
 - 基調報告「エネルギー事業者としての脱炭素社会に向けた取り組み」
当協会副理事長 東京ガス株式会社 代表取締役副社長執行役員
エネルギーソリューション本部長 野畑 邦夫
 - ショートプレゼン(パネルディスカッションに向けた話題提供)
横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院長 教授 佐土原 聡
 - 【パネルディスカッション】

基調講演者	橘川 武郎
基調報告者	渡邊 浩司
基調報告者	小川 謙司
基調報告者	野畑 邦夫
話題提供者	佐土原 聡
 - (コーディネーター)
本協会理事長 早稲田大学名誉教授 尾島 俊雄
6. シンポジウム入場者数

有料受講者	47名(会員43名、一般4名)
中央官庁・自治体・団体機関等	41名
講師・協会関係者	17名
合計	105名

7. 見学会 新型コロナウイルスの影響により中止とした。

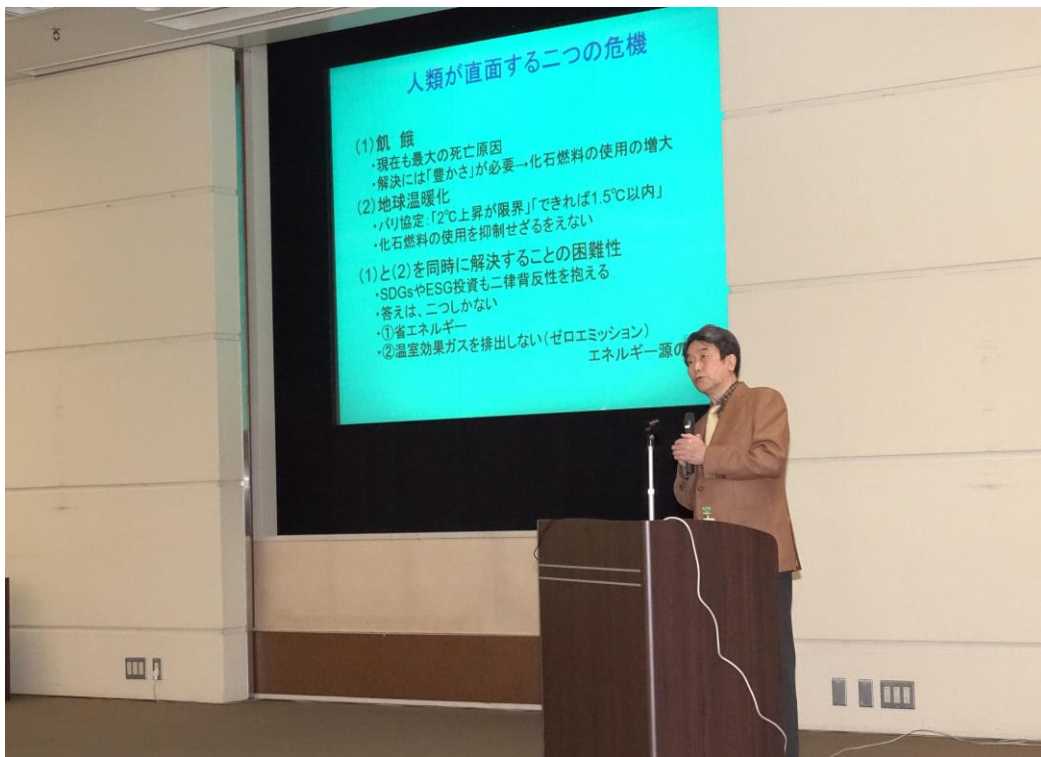
8. 総括

今年のシンポジウムはコロナの状況下にあったが、web開催とせず、工夫を凝らして対面開催とした。蜜を避けるために参加者を絞ったため、例年よりは少なく105名の参加となった。それ以上の参加申込みが多数あったが、やむを得ず断った。

CO₂排出量の増加に伴い、近年、台風や豪雨による大災害が毎年発生する事態となっている。持続可能な成長のためには、社会全体を「脱炭素化」へ大胆かつ速やかに転換していくことが不可欠の状況下であり、我が国も脱炭素化（2050年温室効果ガス実質ゼロ）を宣言した直後の開催となった。前半の基調講演・基調報告、後半のパネルディスカッションとも出演者の皆様より示唆に富む貴重なご意見をご披露いただくことができた。シンポジウムにご参加の皆様、熱心に討議いただいた講師の皆様、また会場を提供していただいた東京ガス株式会社殿に深く御礼を申し上げます。



シンポジウム聴講風景



基調講演



パネルディスカッション